

# 異国へのあこがれ

2017年 5/27(土)~7/2(日)

四方を海に囲まれた日本では、海を越えてもたらされる異国の文化によって、想像力をたくましくし、また内省を重ねながら、独自の文化を培ってきました。

松花堂昭乗(1584~1639)をはじめ、江戸時代の文化をリードした人々も例外ではなく、異国に対するあこがれを抱き、それを受容しながら、時代の文化を紡ぎました。あこがれの対象となるのは、多く中国の人物や風物、そして、そこから生み出される情感まで、多様です。

例えば、昭乗の代表的な書である「百人一首色紙帖」(松花堂美術館蔵)の料紙には、1枚だけ安倍仲麻呂の歌を書いた紙に、中国風の紙(唐紙)が用いられています。渡唐し、その地で没した先人への敬意が込められているようです。また、中国北宋時代の蘇軾(1036~1101)は、東坡(居士)と号し、諡は文忠、日本でも有名な詩人のひとりです。その姿は多く描かれ、蘇軾に対するイメージ形成の上で、大きな役割を果たしています。本展では、蘇軾を描いた2種類の像を展示しながら、それぞれに読み取られるイメージの違いについてもご紹介したいと思います。そのほか、約40点の作品を展示します。



「蘇文忠公像写」松花堂美術館蔵



松花堂昭乗 筆  
「劉禹錫像贊『陋室銘』」  
松花堂美術館蔵



萩坊乗円 筆「蘇東坡騎驢圖」  
松花堂美術館蔵



「古九谷様式色絵人物文皿」松花堂美術館蔵



法童坊孝以 筆「酒徳頌」松花堂美術館蔵



平野仲安 筆「詩歌巻」松花堂美術館蔵



大倉笠山 筆「赤穂山水園」個人蔵

## ミニトーク 江戸の中国趣味

講師：影山 純夫 (当館学芸顧問、神戸大学名誉教授)

平成29年 6月30日(金) 午後4時より(約30分) ※展示室横廊下にお越しください。

参加費：無料(観覧料が必要です)【要申込】

申込方法：お電話またはご来館にてお申込ください。

定員(15人)になり次第、締め切りとなります。

## ギャラリートーク 学芸員による展覧会のみどころ解説

平成29年 6月3日(土) 17日(土) 24日(土) 各日午後2時より展示室にて  
※申込不要(観覧料が必要です)



### 【交通のご案内】

- 京都駅から近鉄電車「丹波橋」駅で京阪電車に乗換え(大阪方面)
- 京阪電車「八幡市」駅または「樟葉」駅から京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ
- JR学研都市線「松井山手」駅から京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ

### 八幡市立松花堂庭園・美術館

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43  
TEL 075-981-0010  
http://www.yawata-bunka.jp

### 【松花堂庭園(国指定史跡・名勝)】

- 開園 午前9時~午後5時(入園は4時30分まで)
- 休園 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
- 料金 一般400円 学生300円 こども200円(20名様以上団体2割引)
- ボランティアガイドによる庭園案内/無料(要予約)



### 【京都 吉兆 松花堂店】

「吉兆」の創業者・湯木貞一が、松花堂昭乗の「四つ切塗籠」をヒントに生み出した「松花堂弁当」。地元野菜、季節の鮮魚で彩られた「松花堂弁当」を、昭乗ゆかりの地で是非ご賞味下さい。

※ご予約は吉兆松花堂店(075-971-3311)まで